日本株レポート

エクイティリサーチ

アイザワ証券株式会社 2022/12/02

審查番号:221202-B1

円高進行。シカゴ日経先物は安い

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

5 営業日ぶりの反発

昨日の日経平均は、米国市場の株高を好感して前日比+257円(+0.9%)の2万8226円と5営業日ぶりとなる上昇で終えた。朝方は前日比+450円以上の上昇となる局面もみられたものの、急速に進んだ円高ドル安が嫌気されて上昇幅を縮小させて安値引けとなった。業種別では電気機器(前日比+1.3%)、化学(同+0.9%)、精密機器(同+0.7%)が上昇率の上位、不動産(▼2.1%)、保険(同▼1.9%)、ガス(同▼1.6%)が下位であった。個別銘柄では、日本電波工業(前日比+7.5%)が連日に買われ、米国で半導体銘柄が買われたことが好感されて、アドバンテスト(同+4.3%)、東京エレクトロン(同+4.0%)、SCREENホールディングス(同+2.7%)などが買われた。昨日に米国で開発中のアルツハイマー治療薬の治験結果を発表したエーザイ(前日比+4.7%)も買われ、株価は年初来高値を更新した。

グロース

現地1日の米国市場では、NYダウは前日比▼194ドル(▼0.5%)の3万4395ドルと3営業日ぶりの下落、ナスダックは同+14ポイント(+0.1%)の1万1482ポイントと続伸で終えた。グロース銘柄が買われ、個別銘柄では22年8-10月期の決算が市場予想を上回ったオクタ(前日比+26.4%)スプランク(同+17.7%)、スノーフレイク(同+7.7%)が大幅高、一方で23.1期通期の会社予想が市場予想を下回ったセールスフォース(同▼8.2%)が売られた。SOX指数は前日比▼0.7%と下落で終えた。WTI原油先物は前日比▼0.09%の3.51%で終えた。引け後にゼットスケーラーが22年8-10月期の決算を発表、売上高、一株利益が市場予想を上回ったものの、通常取引を前日比+8.2%の大幅高で終えた反動から、株価は時間外で下落している(6時50分現在)。

夕日の予定

現地1日のシカゴ日経平均先物は大証比▼240円の2万8010円で終了、今朝のドル円は米国で発表された10月のコアPCE (米個人消費支出)が前同月比で5.0%と9月の5.2%から低下したことから米国で長期債利回りが低下、ドルが売られてドル円は1ドル135.30円程度の円高(7:15時現在)で推移している。今日は国内では主な予定はなし、海外では、11月の米雇用統計の発表が予定されている

東京市場マーケットデータ	
2022/12/1 現在	
日経平均	2万8226円
プライム売買代金	2 兆 7238 億円
プライム時価総額	715 兆 497 億円
日経平均予想 PER	12.9 倍
日経平均 PBR	1.2 倍
日経平均配当利回り	2.2%
出所·Quick	

日経平均パフォーマンス			
年初来高値	2万9388円	2022年01月05日	
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日	

正/汀∶Quick		

国内体式冗員代金フノイング		
株価前日比		
5.2%		
4.7%		
1.9%		
4.0%		
2.4%		
1.3%		
V 0.5%		
5.9%		
V 0.2%		
0.6%		

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



■ アイザワ証券

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等:アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3283号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関:

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター(略称:FINMAC)

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお 読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料(税込)をいただきます。

対面口座:約定代金に対し、最大1.265%(最大149,875円、2,750円に満たない場合は2,750円)

インターネット口座「ブルートレード」: インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が55万円以下の場合は1,650円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合は 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265% (最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円)

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようにお願いいたします。

LINE公式アカウント はじめました!

ベトナムを中心としたアジア情報 をお届けします。

友だち追加はこちらから!



ID: @aizawa